

MSCI日本株式ファクターモデル

一連の次世代型日本株式ファクターモデルは、投資家向けに株式指数とリスクモデルを構築してきたMSCIの半世紀に及ぶ経験の上に築かれています。徹底したリサーチ、広範囲に及ぶデータ、そして計算能力を結集して、最新の投資に関連した喫緊の課題を解決します。当モデルは、クラウドイング、マシン・ラーニング、サステナビリティといったファクターを組み込むことにより、モジュール化されたファクター構造と高度なリスク予測メソドロジーに加えて、モデルの構築方法や提供方法についても見直しを行っています。



投資に関する新たな洞察

- より現実的なバックテストを容易にするポイント・イン・タイム型ファンダメンタルデータ
- アダプティブ・ファクター共分散 (adaptive factor covariance) を活用し、ポートフォリオが複数の景気サイクルにわたる市場環境の変化に対応できるよう支援
- 配当利回り、収益性、空売り残高、利益変動性といったファクターを追加することで、新たな投資リスクファクターを掌握
- 日経平均ボラティリティ・インデックス (NKVI) に含まれる将来予測情報を組み込むことにより、リスク予測を改善するためのファクター共分散行列へのインプライド・ボラティリティを調整
- 株式クラウドイングファクターにより、株式とポートフォリオの「バブル度」やクラウドイングを評価
- マシン・ラーニングを用いて、ファクターエクスポージャーとファクターリターン間の非線形の関係性を理解し、把握
- ポートフォリオのサステナビリティエクスポージャーを測定し、ポートフォリオのリスクとリターンへの寄与度を理解
- ポートフォリオのカーボン・インテンシティ (炭素強度) を把握し、脱炭素目標やネット・ゼロ (排出実質ゼロ) コミットメントの達成を支援
- ポートフォリオの「クラスターリスク」につながり得る類似性の高い企業クラスターを特定
- 業種リターンに対する株式リターンの感応度の違いを把握するため、業種ファクターへのエクスポージャーの動的な調整
- 既存のファクター (Beta、モメンタム、残差ボラティリティ、成長性、益回り、バリュー、投資品質 [JPE4ではManagement]、流動性、海外感応度、アナリスト・センチメント [JPE4ではSentiment]) に対して、IPO (新規上場銘柄) への対応、パフォーマンス、解釈性、カバレッジ、安定性などを向上させるための改良

複数の投資ホライズンに対応したファクター構造

想定される利用者	長期モデル	トレーディングモデル
	- アクティブおよびパッシブ資産運用会社 - アセットオーナー - セルサイド - 銀行やマーケットメーカー - バイサイド - ヘッジファンド - ファンダメンタル運用およびクオンツ運用のマネージャー	- 株式ヘッジファンド運用会社 - クオンツ資産運用会社 - アルゴリズムトレーダー - セルサイドトレーダー - リスクマネージャー
注目点	- ポートフォリオの構築に着目した設計 - 複雑なポートフォリオを直感的なリスクファクターに分解。運用会社、投資家、そして規制当局にリスクエクスポージャーとリスク調整後パフォーマンスの明確な理解を提供 - 安定運用型と早期反応型の2種類を提供	- シリーズで最も応答性の高いモデルであり、1日先を予測期間としている。市場の混乱に迅速に対応することが可能 - 短期ポートフォリオのリスク分析向けに設計 - 短期取引、ヘッジング、日次リスクモニタリング向けに構築

MSCIの最新の技術革新で運用プロセスの改善が可能

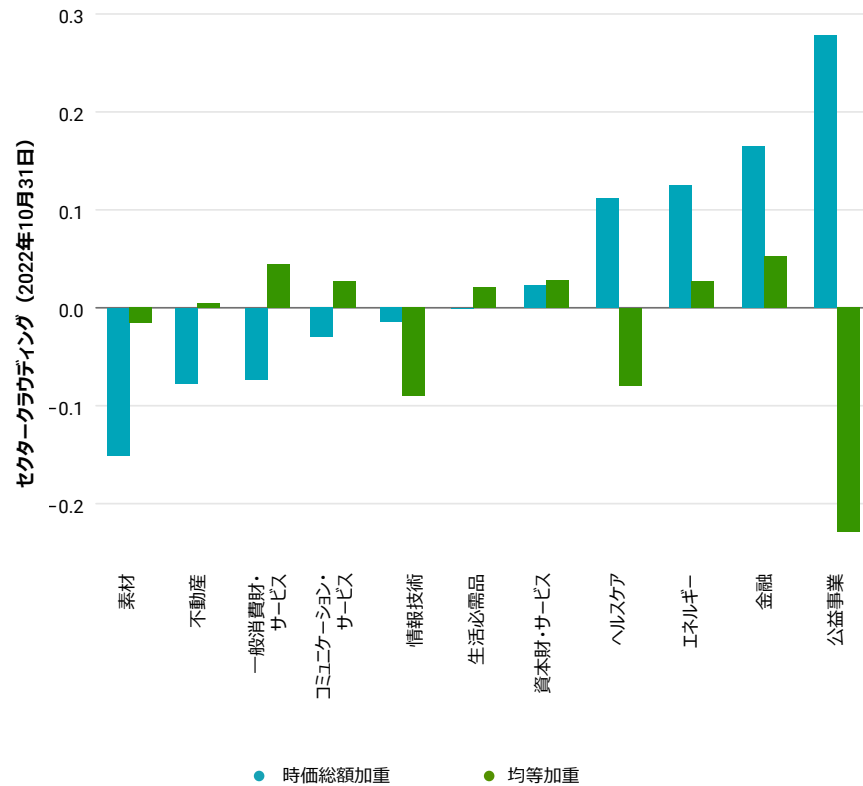
他への影響を調整しながらポートフォリオのリターンに対する二酸化炭素排出量の影響を定量化

気候変動指数	アクティブ ¹ (%)	非炭素関連売上高 (%)	業界 (%)	固有要因 (%)	炭素関連 (%)
MSCIジャパン気候変動パリ協定準拠指数	-5.0	-3.1	-0.8	-0.5	-0.6
MSCIジャパン気候変動指数	-1.6	-0.5	-0.3	-0.6	-0.2

アクティブリターンのパフォーマンスへの寄与事例（2020年6月～2022年11月）

1. アクティブリターンはMSCIジャパンIMI指数に対して算出

保有銘柄、ポートフォリオ、市場セグメントがどれほどバブル的（過熱的）かを理解



日本株式コンテンツセット – 対象範囲

カバレッジ	26のスタイルファクター	4,000超の銘柄	43の業種ファクター
資産クラス	預託証券 重複上場銘柄 株式 株価指数先物 ETF		
ファクター	 ボラティリティ  利回り  クオリティ  モメンタム  バリュー  サイズ  マクロ  センチメント  グロース  流動性  非線形性  サステナビリティ		



モデル提供方法およびアクセス方法

MSCIのモデルは、クラウド環境（Snowflake経由）、MSCIの各種アプリケーション（BarraOne、Barra Portfolio Managerなど）、直接データを配信する「Models Direct」、またはサードパーティのベンダープラットフォームを通じてご利用いただけます。

MSCI について

MSCI (NYSE: MSCI Inc.) は、金融エコシステム全体の参加者を共通言語でつなぐことで、グローバル市場の強化に貢献しています。当社の経験豊富なリサーチに基づき、かつ最新のテクノロジーによって支えられた、データ、リスク分析ツール、指数は、グローバル投資家にとってのスタンダードを確立するとともに、お客様がリスクと投資機会を理解することで、より良い意思決定を行い、イノベーションを実現できるよう支援しています。MSCI は、アセットマネージャーやアセットオーナー、プライベート市場のスポンサーや投資家、ヘッジファンド、ウェルスマネージャー、銀行、保険会社、そして事業法人にサービスを提供しています。

詳細は www.msci.com をご覧ください。

せん。過去のデータおよび分析は、将来のパフォーマンス、分析、予想もしくは予測の提示または保証と捉えるべきではありません。本情報、MSCI指数、他の商品またはサービスのいずれも、有価証券、金融商品、またはトレーディング戦略の売買の募集、販売促進または推奨を構成するものではありません。また、本情報またはいかなるMSCI指数も、何らかの種類の投資判断を行うための（または行おうとするための）投資助言または推奨を構成するものではなく、そのようなものとして依拠してはなりません。MSCIのESGおよび気候の格付、リサーチおよびデータは、MSCI Inc.の子会社であるMSCI ESG Research LLCが作成しています。MSCI ESG指数、分析および不動産は、MSCI ESGリサーチLLCから得た情報を利用したMSCI Inc.の商品です。MSCI指数は、MSCI Limited (UK)およびMSCI Deutschland GmbHが管理しています。本情報は、「現状有姿[TM1.1][SS1.2]」で提供され、本情報の利用者は本情報の利用または利用を許可することによるすべてのリスクを負うものとします。MSCI Inc.もしくはその子会社、その直接もしくは間接のサプライヤーまたは本情報の作成・編集に関わったいずれかのサードパーティ（それぞれ「情報プロバイダー」）は、いかなる保証または表明も行わず、また、各情報プロバイダーは、法律によって認められる最大限まで、商品性および特定目的への適合性の保証を含め、あらゆる黙示的な保証を明示的に否認します。上記のいずれをも制限することなく、また法律によって認められる最大限まで、いかなる場合も、いずれのMSCI当事者も、直接、間接、特別、懲罰的、派生的（逸失利益を含む）、またはその他の損害について、たとえそのような損害の可能性について通知された場合でも、一切の責任を負いません。上記は、適用法によって除外または制限が認められない責任を除外または制限するものではありません。個人情報保護について：MSCIが個人情報をどのように収集し使用するかについて詳しくは、弊社の個人情報保護方針（<https://www.msci.com/privacy-pledge>）をご覧ください。

©2025 MSCI Inc. All rights reserved | CFS0925

本書に記載される情報（「本情報」）は、MSCIの事前の書面による許可なしに、全部または一部を複製または配布することはできません。本情報は、他のデータを検証または訂正するため、何らかの二次的著作物を作成するため、指数、リスクモデル、分析を生成するため、または有価証券、ポートフォリオ、金融商品、その他投資ビークルの発行、後援、管理もしくは販売のために使用してはなりません。